

金ヶ崎町上下水道事業告示第2号

公営企業の業務の状況の公表について

「財政事情」の作成及び公表等に関する条例第4条の規定により、金ヶ崎町水道事業にかかる業務の状況について、別紙のとおり公表する。

令和3年5月31日

金ヶ崎町長 高橋 由



- 1 公表する事項 令和2年度下期水道事業業務状況
- 2 閲覧場所 金ヶ崎町上下水道課

令和2年度下半期水道事業経営状況

I. 使用水量について

1. 下期全体水量は 1,198,006 m³で、前年度同期 (1,166,812 m³) に比べ 2.7%増加しています。上半期は前年度と同程度でしたが、下半期は全体的に前年度を上回る使用状況でした。全期の水量は 2,362,643 m³となり前年度 2,332,288 m³に比べ 1.3%増加しています。
2. 家庭用水量については 551,528 m³で、前年度同期 (533,693) に比べ 3.3%増加しています。全期では 1,120,372 であり前年度 1,087,728 m³に比べ 3.0%増加しています。加入件数は、3 月末現在では 5,287 件 (前年度 5,223 件) になっており 64 件増加しています。
3. 営業用水量については 115,757 m³で、前年度同期 (115,419 m³) に比べ 0.3%増加しています。全期では 224,232 m³であり、前年度 231,951 m³に比べ 3.3%減少しています。
4. デンソーについては 342,603 m³で、前年度同期 (341,977 m³) に比べ 0.2%増加しています。全期では 652,510 m³となり、前年度 651,904 m³に比べ 0.1%増加しています。
5. 工業用 (デンソー除き) については 117,064 m³で、前年度同期 (111,421 m³) に比べ 5.1%増加しています。全期では 225,994 m³であり、前年度 221,357 m³に比べ 2.1%増加しています。

II. 財政状態について

1. 収益的収入及び支出 (税抜き)

(1) 営業収益

下期営業収益は 177,464 千円であり、前年度同期 (171,010 千円) と比べて 3.7%増加しています。給水収益は 158,554 千円であり、前年度同期 (154,513 千円) と比べて 2.6%増加しています。全期では営業収益が 331,875 千円であり前年度 325,281 千円と比べて 2.0%増加となっています。

(2) 営業費用

下期営業費用全体では 189,884 千円であり、前年度同期 (165,095 千円) と比べて 15.0%増加しています。全期では 344,051 千円であり、前年度 299,337 千円に比べ 14.9%増加しています。主な増加要因としては、原水及び浄水費の委託料や修繕

費、配水・給水費の委託料、修繕費及び総務費の委託料などです。

(3) 営業外収益

下期営業外収益は 10,100 千円であり、前年度同期 (10,996 千円) と比べて 8.2% 減少しています。全期では 46,723 千円であり、前年度 21,805 千円に比べ 114.3% 増加しています。主な増加要因は、一般会計繰入金の増によるものです。

(4) 営業外費用

下期営業外費用は 2,739 千円であり、前年度同期 (230 千円) と比べて 528.7% 増加しています。これは特定収入分支払消費税によるものです。全期では 2,917 千円であり、前年度 464 千円に比べ 528.7% 増加しています。

(5) 経常利益

下期の経常利益が△4,059 千円となり、前年度同期の経常利益は 16,664 千円となっています。これにより令和 2 年度決算では 31,587 千円の純利益を見込んでいます。これは前年度 (48,137 千円) よりも 34.4% 減少しています。

2. 資本的収入及び支出 (税込み)

主な建設改良費の支出状況は次のとおりです。(500 万円以上)

西根高谷野原地区配水管布設替工事	21,280,600
------------------	------------

令和2年度 損益計算書

収益的収入及び支出

(消費税抜き) (単位:千円)

科 目	令和2年度上半期		令和2年度下半期		令和2年度全期		令和元年度全期		前年比
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	
営業収益	154,411	100.0	177,464	100.0	331,875	100.0	325,281	100.0	102.0
給水収益	153,997	99.7	158,554	89.3	312,551	94.2	308,374	94.8	101.4
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
その他の営業収益	414	0.3	18,910	10.7	19,324	5.8	16,907	5.2	114.3
営業費用	154,167	99.9	189,884	100.0	344,051	100.0	299,337	100.0	114.9
原水及び浄水費	45,937	29.8	56,203	29.6	102,140	29.7	75,608	25.3	135.1
配水及び給水費	14,383	9.3	28,033	14.8	42,416	12.3	36,332	12.1	116.7
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
総係費	24,400	15.8	33,431	17.6	57,831	16.8	48,465	16.2	119.3
減価償却費	69,447	45.0	67,222	35.4	136,669	39.7	138,918	46.4	98.4
資産減耗費	0	0.0	4,995	2.6	4,995	1.5	14	0.0	35678.6
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-
営業利益	244	-	△ 12,420	-	△ 12,176	-	25,944	-	-0.5
営業外収益	35,623	99.9	11,100	100.1	46,723	100.0	21,805	100.0	214.3
受取利息及び配当金	3	0.0	9	0.1	12	0.0	15	0.1	80.0
加入者負担金	1,969	5.5	2,085	18.8	4,054	8.7	4,759	21.8	85.2
他会計補助金	22,313	62.6	178	1.6	22,491	48.2	203	0.9	11079.3
長期前受金戻入	7,892	22.2	8,010	72.2	15,902	34.0	16,119	73.9	98.7
引当金戻入益	3,330	9.3	272	2.5	3,602	7.7	0	0.0	皆増
雑収益	116	0.3	546	4.9	662	1.4	709	3.3	93.4
営業外費用	178	100.0	2,739	100.0	2,917	100.0	464	100.0	628.7
支払利息及び企業債取扱諸費	178	100.0	150	5.5	328	11.2	438	94.4	74.9
雑支出	0	0.0	2,589	94.5	2,589	88.8	26	5.6	皆増
経常利益(△損失)	35,689	-	△ 4,059	-	31,630	-	47,285	-	66.9
特別利益	0		0		0		884		皆減
固定資産売却益	0		0		0		0		-
過年度損益修正益	0		0		0		884		皆減
その他特別利益	0		0		0		0		-
特別損失	31		12		43		32		134.4
手当	0		0				0		-
固定資産売却損	0		0		0		0		-
過年度損益修正損	31		12		43		32		134.4
その他特別損失	0		0		0		0		-
当年度純利益(△純損失)	35,658	-	△ 4,071	-	31,587	-	48,137	-	65.6
前年度繰越利益剰余金	0		0		0		0		-
その他未処分利益剰余金変動額	0		2,579		2,579		2,469		104.5
当年度未処分利益剰余金 (当年度未処理欠損金)	35,658	-	△ 1,492	-	34,166	-	50,606	-	67.5

比較貸借対照表

(単位:千円)

科 目	平成30年度		令和元年度			令和2年度		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
固定資産	2,795,161	85.4	2,711,194	82.9	97.0	2,620,770	79.9	96.7
有形固定資産	2,789,412	85.3	2,708,146	82.8	97.1	2,611,321	79.6	96.4
土地	44,028	1.3	44,028	1.3	100.0	44,028	1.3	100.0
建物	172,313	5.3	159,619	4.9	92.6	146,926	4.5	92.0
構築物	2,436,287	74.5	2,380,560	72.8	97.7	2,306,102	70.3	96.9
機械及装置	122,475	3.7	106,743	3.3	87.2	91,307	2.8	85.5
車両運搬具	7,816	0.2	5,800	0.2	74.2	3,846	0.1	66.3
工具器具及備品	6,036	0.2	4,245	0.1	70.3	8,483	0.3	199.8
その他有形固定資産	457	0.0	422	0.0	92.3	386	0.0	91.5
建設仮勘定	0	0.0	6,729	0.2	0.0	10,243	0.3	152.2
無形固定資産	5,749	0.2	3,048	0.1	53.0	9,449	0.3	310.0
電話加入権	377	0.0	362	0.0	96.0	348	0.0	96.1
ソフトウェア	5,372	0.2	2,686	0.1	50.0	9,101	0.3	338.8
流動資産	476,802	14.6	557,929	17.1	117.0	657,957	20.1	117.9
現金預金	452,710	13.8	528,772	16.2	116.8	602,735	18.4	114.0
未収金	20,366	0.6	25,379	0.8	124.6	23,652	0.7	93.2
未収金貸倒引当金	△ 300	0.0	△ 300	0.0	100.0	△ 300	0.0	100.0
貯蔵品	2,826	0.1	2,878	0.1	101.8	2,730	0.1	94.9
前払金	0	0.0	0	0.0	0.0	27,940	0.9	皆増
その他流動資産	1,200	0.0	1,200	0.0	100.0	1,200	0.0	100.0
資産合計	3,271,963	100.0	3,269,123	100.0	99.9	3,278,727	100.0	100.3
固定負債	8,085	0.2	5,506	0.2	68.1	2,813	0.1	51.1
企業債	8,085	0.2	5,506	0.2	68.1	2,813	0.1	51.1
流動負債	82,974	2.5	46,544	1.4	56.1	39,029	1.3	83.9
企業債	2,469	0.1	2,579	0.1	104.5	2,694	0.1	104.5
未払金	60,384	1.8	25,719	0.8	42.6	17,263	0.5	67.1
引当金	15,593	0.5	15,444	0.5	99.0	15,444	0.5	100.0
賞与引当金	3,480	0.1	3,331	0.1	95.7	3,331	0.1	100.0
修繕引当金	12,113	0.4	12,113	0.4	100.0	12,113	0.4	100.0
預り金	3,328	0.1	1,602	0.0	48.1	2,428	0.1	151.6
その他流動負債	1,200	0.0	1,200	0.0	100.0	1,200	0.0	100.0
預り有価証券	1,200	0.0	1,200	0.0	100.0	1,200	0.0	100.0
繰延収益	327,420	10.0	315,451	9.6	96.3	303,675	9.1	96.3
長期前受金	1,061,779	32.5	1,065,222	32.6	100.3	1,069,348	32.6	100.4
長期前受金収益化累計額	△ 734,359	△ 22.4	△ 749,771	△ 22.9	102.1	△ 765,673	△ 23.5	102.1
資本金	2,571,420	78.6	2,573,784	78.7	100.1	2,576,253	78.6	100.1
自己資本金	2,571,420	78.6	2,573,784	78.7	100.1	2,576,253	78.6	100.1
剰余金	282,064	8.6	327,838	10.0	116.2	356,957	10.9	108.9
資本剰余金	795	0.0	795	0.0	100.0	795	0.0	100.0
受贈財産評価額	795	0.0	795	0.0	100.0	795	0.0	100.0
利益剰余金	281,269	8.6	327,043	10.0	116.3	356,162	10.9	108.9
減価積立金	10,554	0.3	8,085	0.2	76.6	5,507	0.2	68.1
建設改良積立金	234,799	7.2	268,352	8.2	114.3	316,489	9.7	117.9
当年度未処分利益剰余金	35,916	1.1	50,606	1.5	140.9	34,166	1.0	67.5
(うち当年度純利益)	33,553	1.0	48,137	1.5	143.5	31,587	1.0	65.6
負債資本合計	3,271,963	100.0	3,269,123	100.0	99.9	3,278,727	99.9	100.3

令和 3 年度金ケ崎町水道事業会計予算編成方針

1. 基本方針

令和 3 年度の使用水量は令和 2 年度から引き続き安定的な使用を見込んでいます。

しかし、今後は人口減少等による料金収入の減少が見込まれるほか景気の動向に使用水量が大きく左右される工業用の比率が高く、また老朽化が進んでいる浄水施設や配水管などの維持管理費や更新事業費が増大していくと見込まれることから、水道事業の経営は不安定な要素を多く抱えています。

令和 3 年度は、安全な水を安定的に供給するため、施設等の適正な保守点検・維持管理を継続するとともに、施設・設備の計画的な更新を進めます。また、引き続き水道事業の健全運営に努めるとともに、健全で持続可能な水道事業を目指し、水道事業の現状・課題の分析を行い、その対策について検討を進めてまいります。

2. 重点事項

- (1) 安全でおいしい水の安定的な供給のために施設等の適正な管理を進め、施設・設備の計画的修繕や更新を進めます。
- (2) 料金徴収業務の民間委託等により引き続き経費節減や収納率向上などに取り組み、水道事業の健全運営に努めます。
- (3) 浄水施設や配水管の更新及び整備計画の策定を進め、施設等の更新費用を含めた、将来にわたって収益と費用の均衡がとれる経営改善方策を住民に示していきます。

3. 具体的な取り組みと目標

- (1) 引き続き千貫石水源と高谷野原水源を中心とした給水体系を維持するとともに、安全な水の安定的な供給を維持します。あわせて、施設や配水管などの維持管理・保守点検を進める中、老朽施設の設備や配水管の更新及び道路改良に伴う整備に向けた事業を進めます。
- (2) 安全でおいしい水の安定的な供給を図るため、「金ケ崎町水安全計画」に基づき水質検査を実施し、その情報を公開します。
- (3) 収納率向上のため引き続き、滞納者の給水停止を含めた納付相談・徴収業務を実施します。
- (4) 安定的な収益増と安全な水の供給のため、加入者の拡大に取り組みます。具体的には、6 月の「水道週間」を中心に安全な水の PR を行うとともに、金ケ崎町の定住促進に関わる情報収集・発信に努めます。

- (5) 今後10年間の供給水量、施設更新、資金計画及び奥州金ヶ崎行政事務組合水道用水供給事業からの受水計画を含めた次期「金ヶ崎町水道事業基本構想（地域水道ビジョン）」により、今後の水道事業の状況について、住民懇談会等において町民にお知らせしていきます。

令和3年度水道事業会計予算概要説明

1. 収 益

令和3年度は、総給水量及び有収水量は若干の増加と見込まれます。用途ごとでは家庭用、工業用の使用量が増加見込みで、営業用、団体用の使用量が減少見込みであり、全体での料金収入は、前年度比101.6%、5,491千円の増額を見込んでいます。営業収益全体では101.6%、5,867千円の増額となっております。

営業外収益では、加入者負担金は前年度比103.7%、143千円の増加、一般会計補助金は前年度と同額の22,313千円、長期前受金戻入は前年度比97.6%、374千円の減少を見込んでいます。営業外収益全体では、99.4%、280千円の減額見込みとなっております。

そのため水道事業収益は407,858千円を見込み、前年度比5,587千円の増額となる予算措置をしています。

2. 費 用

営業費用は、前年度比100.7%、2,690千円の増額となっております。このうち原水及び浄水費は、前年度比104.1%、4,797千円の増額となっています。これは修繕費の増額によるものです。

配水及び給水費は前年度比96.0%、1,652千円の減額となっています。これは委託料の減額によるものです。

総係費は、前年度比99.7%、212千円の減額となっています。これは委託料及び賃借料が減額となったことが主な要因です。

減価償却費及び資産減耗費は、前年度と同程度を見込んでいます。

営業外費用は前年度比136.6%、3,046千円の増額となっています。これは雑支出が増額となったことが主な要因です。

特別損失では、前年度と同額を見込んでいます。

これらにより、水道事業費用では前年度比101.5%、5,736千円の増額になっており、収益的収入及び支出では21,416千円の黒字を予定しています。

資本的収入では、前年度比211.9%、5,539千円の増額となっています。

資本的支出では、建設改良費は送水配水施設費が前年度比110.2%、12,107千円増額、営業設備費が前年度比6.1%、46,754千円減額となっています。建設改良費全体では、79.4%、34,647千円の減額となっています。

企業債償還金は前年度比104.5%、115千円増額しています。

資本的収入の不足額 126,041 千円は、

過年度分損益勘定留保資金 123,347 千円

減債積立金 2,694 千円 で補てんいたします。